

2011 年度連続公開セミナー報告

「社会調査に役立つ統計分析：SPSS で学ぶ統計分析入門」

RA 研究員 盧 回男

現代女性キャリア研究所では、社会調査を利用する学生や大学院生及び研究者への研究支援プロジェクトとして、連続公開セミナー「社会調査に役立つ統計分析：SPSS で学ぶ統計分析入門」を実施した。講師としてニッセイ基礎研究所の金明中研究員を招き、社会調査データを分析する際に多く利用されている SPSS を用い、操作方法から具体的な分析方法や考え方、分析結果の読み取り方について講義していただいた。SPSS を使って論文執筆を考えている本学学生や教員のほか、本学以外からの参加も得て、第一回の受講者は 38 名だった。フロアからは、毎回、積極的な質問がなされ、熱心な講義は好評を博した。

1. 講義内容（前編・後編を通して全 6 回）

前編：2012 年 2 月～3 月実施済み

- 1) SPSS の基礎知識と基本操作
- 2) データの加工
- 3) 統計分析の基礎（正規分布、分散、標準偏差等）やグラフの作成

後編：2012 年 5 月～6 月実施

- 4) クロス集計、相関分析
- 5) 独立性の検定、分散分析
- 6) 回帰分析

2. 参考資料

- 酒井麻衣子（2009）『SPSS 完全活用法 データの入力と加工（第 2 版）』
- 竹原卓真（2007）『SPSS のススメ〈1〉2 要因の分散分析をすべてカバー』北大路書房
- 竹原卓真（2010）『SPSS のススメ〈2〉3 要因の分散分析をすべてカバー』北大路書房
- 村瀬洋一・高田 洋・廣渡毅士（2007）『SPSS による多変量解析』Ohmsha
- 馬場浩也（2002）『SPSS で学ぶ統計分析入門』東洋経済新報社

※講師の紹介

キム ミョンジュン
金 明中 (ニッセイ基礎研究所)

- ・現職：ニッセイ基礎研究所生活研究部門研究員、日本女子大学・大学院非常勤講師
- ・研究・専門分野：社会保障論、労働経済学、日・韓社会保障政策比較分析



なお、この公開セミナーは、文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の一環として開催したものです。